

第6回日吉津小学校運営協議会会議録

- 日 時 令和4年3月4日(金) 午後7時30分～午後8時25分
- 場 所 日吉津小学校子ども図書館「まなびルーム」
- 出席者 会長：山根直樹(社会教育委員)
副会長：井藤健志(地域代表)
委員：吉崎勇(学校支援ボランティア)、石敬子(学校支援ボランティア)
山路由紀子(保育所所長)、河本里美(小学校教頭)、横田威開(教育課長)
井田博之(教育長)、長谷徳子(地域コーディネーター)
太田敦弘(小学校校長) …リモート参加
- 欠席者 委員：江見幹人(P T A会長)、田辺昌宏(地域代表)
兼本修二(学校支援ボランティア)、立脇賢二(学校支援ボランティア)

1. 開会 午後7時30分から

○進行 横田課長

・時間になりましたので始めたいと思います。みなさんこんばんは。今年度最後となります第6回日吉津小学校運営協議会です。はじめに会長の山根直樹さんから挨拶をいただきたいと思います。

2. あいさつ

○山根会長

・みなさんこんばんは。今年度最後の学校運営協議会です。先月の「かけ算九九を聞こう」ではこちらも貴重な体験ができました。さて、ウクライナでは、子どもたちが大変な状況下におかれています。ニュースを見ながら、こうして生活できることを喜びと感じて日々の生活を過ごしていきたいなと思いました。

みんなで子どもたちを育てていきましょう。よろしくお願いします。

3. 議題

(1) 令和4年度日吉津小学校運営方針の承認について

○進行 山根会長

・議題1、令和4年度日吉津小学校運営方針の承認について、事務局から説明をお願いします。

・令和4年度日吉津小学校運営方針については、初めに太田校長先生の方からお聞きして、その後、意見や感想等出し合いながら進めさせていただきたいと思います。

それでは、太田校長先生お願いします。

<太田敦弘校長リモートにて参加(説明)>

・みなさんこんばんは。今日はこのような形で参加することになりました。背景の写真

は、日吉津村の交流先の沖縄読谷村の長浜公民館です。毎年ここを拠点として交流をさせてもらっています。

それではプレゼンの共有をしたいと思います。令和4年度の学校運営方針ということで、概要をお話したいと思います、令和4年度日吉津小学校グランドデザイン（案）です。学校教育目標については、今年度と同じ「心はずませ なかまとともに 挑みつづける児童の育成」です。全ての教育活動でこのような子どもたちの姿が見れるといいなと思います。

めざす児童の姿 これは、何年も同じものが引き継がれているものですが、自ら学ぶ子（知）、ともに生きる子（徳）、やりぬく子（体）です。

ひえづのあたりまえということで、あいさつへんじ、だまって掃除、くつそろえ、この3つをあげています。あえて日吉津小学校のあたりまえではなくてひえづのあたりまえとしているのは、日吉津村あげてあたりまえにできるようにしたいという思いからこのように設定しています。

学校は、知・徳・体で教育活動を整理しているのですが、日吉津小学校は夢を加えることによって未来の村づくりを担う子どもを育てたいと思っています。そのため外国語、ICT、体験学習などに力を入れています。日吉津小学校の特色ですが、県、国に先駆けて全学年30人学級になっています。大変あつい予算措置をさせていただいていることに感謝いたします。それから村の雇用の学習支援員4名配置させていただいています。給食は大変おいしく、作りたてが食べれる自校給食です。運動場は芝生化されています。全教室にエアコン、空気清浄機が完備されています。快適な環境で子どもたちは勉強することができています。5年生は毎年大山にセカンドスクールということで、基本的には1週間大山青年の家に行って、寝泊まりして学習をするという活動をしています。この2年間はコロナのために、期間が短くなっていますが、非常に子どもたちが成長する体験活動であるなと思っています。

ALTですが、村雇用で毎日ALTの先生にお世話になっています。今年はマイケル先生です。非常に恵まれた環境にあると思っています。

ICT支援員についても毎週火曜日に来ていただいています。それから困ったときには、いつでも相談にのってくださいます。子どもたちのタブレットの活用について、非常に力になっていただいています。

ひえづ113チャンネルの方では、今、コロナ禍ということで、なかなか学校の様子を保護者のみなさんや地域のみなさんに公開できておりませんので、先日も続けて取材に来ていただいて、様子を流していただいております。この後、見ていただきます。

グランドデザイン（案）の下の方に新たな項目を入れております。「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の3つの項目です。今の学習指導要領には、「何を」「どのように学んで」「何ができるようになればよいのか」が具体的に書かれています。まず「何を学ぶか」教科等の特性に応じた見方、考え方をすることとあります。教科等の見方、考え方を大切にします。例えば数学的に見方、考え方というのは、物事を数や図形などに着目して考えることで。ここにお茶があります。みなさんこれを見て何か感じられたでしょうか。ちょっとのどが渴いたな、飲みたいな、これはおーいお茶かななどいろいろあると思います。例えば、これを理科の見方、考え方から見ると、

このお茶はどんな成分かな、どんなものが入っているのかな、というような見方ができると思います。数学的な見方、考え方でみるとこのお茶の嵩はどれくらいかな、それから造形的な見方からすると、このラベルのデザインはどのように作られたのか。社会的な見方、考え方からするとこのお茶の産地はどこかなとか、これは一例ですので、まだまだいろいろな見方をすることができると思います。ただ、なんとなくというのではなくて、その教科にあった見方をすることによって、確かな力をつけていくということです。次にどのように学ぶかですが、インプット、アウトプットで主体的に学ぶとあります。例えば、インプットは読むこととか、聞くこととか、見ること、感じることもありますが、アウトプットは話すこと、書くこと、表現することなどです。これらをインプットしたり、アウトプットしたり交互にすることで、学んだことをつなげていって、広げて次の学びに生かす。このことを主体的な学びといわれています。今まではインプットが主で、読んだり、聞いたり、見たりして終わりということでしたが、アウトプットとつなげていくことで、次につなげていくということです。

次に何ができるようになるかです。学習したことや体験したことを生かすことができるとあります。今までの学習指導要領には、教師が何を教えるかということが中心に書かれています。今回の学習指導要領には、子どもたちは何ができるようになるかということが書かれています。学んだことを本当の社会に出たときに活用できる力をつけるということが大切だということが言われています。今まではいろいろなことを知っていること、知識が豊富であること、学力がついているということが一つの指標であったんですが、これからはどのように活用できるのかということが大きな力となっていると言われています。

続いて研究についてです。お知らせしておきます。令和5年度に西伯郡の小学校教育研究大会があります。日吉津小学校が発表校として、算数の取組を発表する予定です。郡内、近隣の小学校の先生に見ていただく予定です。令和6年度は箕蚊屋中学校校区の人権教育研究会、これも発表会があります。そこでは、学級活動を中心とした人権教育の取組を発表する予定としています。令和4年度から基礎的なことの研究を積み重ねていきたいと感じています。併せて令和5年度は、本校の創立150周年となるようです。来年度には、創立150周年準備委員会のようなものを立ち上げて少しずつ準備に入らんとはいけないかなと思います。手間やお金をかければよいというものでもありませんので、できるだけ子どもたちの思い出に残るような150周年にしていきたいと考えています。

現在コロナ禍でなかなか学校の様子を見ていただく機会がないですので、ひえび113チャンネルで学校の様子を放送していただいています。以前放送していただいたものを約10分にまとめていますので、見ていただきたいと思います。

【リモートにて学校の様子を視聴】

グランドデザインにもありますように、コミュニティ・スクールを基盤とした学校支援がこれから大切になってくると思います。いろいろなことが学校に入ってくると思いますが、学校だけでは解決できない状況がたくさんあります。そこで、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たすことで解決の筋道が見えてくるのではないかと考えています。また、多様性が大切にさせる社会ですので、様々な立場の方が、学校に関わって

ださることで、学校教育がさらに豊かになると考えられます。学校、家庭、地域が連携・協力して未来を拓くひえづの子を育てていきましょう。

以上で、令和4年度の教育についての話を終わります。

・太田校長先生ありがとうございました。みなさんに日吉津小学校グランドデザイン（案）をお配りしています。これをもとに話をさせていただきました。今話を聞かれてお気づきの点や質問、意見、疑問に思われることなどありましたら出していただきたいと思えます。

・疑問に思うということではないんですけれども、インプットとアウトプットというのは本当にいいことだなと思えます。私たちの時代は、インプットばかりで、アウトプットという部分はほとんどなかったように思えます。私たちの時代は、うまく話せない、うまく伝えられない。相手に分かるように伝えるという部分は、なかなか難しいように思うので、大事なことだなと思えます。もう一つは、生きるためには何が必要か、生きていくためには何が必要かということ聞いたことがあります。そのことで、何を学ぶかということにつながっているのかな、それで、どのように学んで、何ができるようになるのかという流れにつながっていく、そこが身についていくということなのかなと思ひながら聞きました。

・ご意見いただき、ありがとうございました。

・今ご意見いただいたところは、令和4年度新たにグランドデザインが変更になったところになります。インプットからアウトプットというところ、何かできるようになるかに向けて、どのように学ぶかということにも目を向けていくということです。

・その他ありませんか。

ないようですので、またお気づきのことがありましたらあとでもよろしいですのでお願いします。

・今回は、日吉津小学校グランドデザイン（案）について、令和4年度の日吉津小学校の運営方針として進めさせていただきたく思いますが、みなさんよろしいでしょうか。

・よろしければ、みなさん拍手をお願いします。

<拍手多数>

・ありがとうございます。それでは以上で令和4年度日吉津小学校運営方針の承認については、終わりたいと思ひます。

(2) リーフレットについて

・2番のリーフレットについて事務局の方からお願いします。

・みなさんのお手元に配布していますが、リーフレットの2校になります。初校は本日の協議会案内通知と一緒に配布しております。初校から直したところは、表紙の文字を大きくしました。それから、体験活動・学校支援活動のところの子どもと大人のことばのところを少し大きな文字にしたり、ことばが切れるところがありましたので、切れないように2行目、3行目につなげるように修正しました。再度、誤りがないか目を通して、3月中に印刷をしまして、4月1日発行の村報と一緒に配布していただくように予定しています。何かご意見等ありましたらお願いします。

<特に意見なし>

(3) その他

- ・3番その他ですけど、事務局の方から何かありますか。
- ・コミュニティ・スクールだより第2号をお手元に配布しておりますが、これは小学校に配ったものです。第1号は、コミュニティ・スクールを立ち上げたこと、委員の名前などを載せておりました。今回は第2号ということで、11月に実施しました熟議のこと、児童と学校運営協議会委員の交流としてかけ算九九を聞きましたので、その様子を保護者のみなさまにお知らせしようと思い、たよりを作成しました。委員のみなさんと情報共有したく本日お配りしております。

4. 閉会

○井田教育長あいさつ

・アドラー心理学に興味がありまして、いろいろな本を読んでいます。人の悩みはほとんどが人間関係の悩みだと言っています。確かにその通りだなと思います。それを解決するためにはやっぱり関わって、理解し合っということに当然なるわけです。コミュニティ・スクールを通じて子どもたちが対人関係、社会性を育てていってくれるように、そして最終的には、日吉津村が今のようにあたたかい村としてずっと発展していけるようにということを願うわけです。学校運営協議会、コミュニティ・スクールの活動そのものが、それに役に立つといいなというふうに思っています。

コミュニティ・スクールだよりに熟議が載せてあり、主な意見が書いてあります。楽しいことをする。大人がやってみせる。子どもたちと一緒に活動する。いろいろな経験をさせる。つまり一緒に活動して、経験して、関わることでお互いに理解し合う。大人の方も子どもの姿をよく理解できるようになることだと思って、一緒にやるのが大切なんだなというふうに思いました。子どもが話をよく聞くということではなく、我々が子どもの話を聞くんだらうなと思いますし、地域の祭り、朝のあいさつ、ありがとうを伝える。これはみんな人間関係に大きく関わってくことで、地域の祭り、朝のあいさつ、ありがとうを伝えるが、何らかの活動を通して、運営協議会の活動を通して、何かできることがあるといいなと思っています。学校を支援するだけではなく、何らかの活動することによって、日吉津村そのものが、活性化していくというふうな仕掛け人になればいいなと思っています。

この間は、子どもと直接関わるかけ算九九を聞いたんですけども、子どもと大人と関わる何かイベントでもなんでも何かアイデアを出して、お互いに理解を深め合うというふうな、子どもにとってはいろいろなことを学ぶということができるといいなと、そういう機会をぜひ作っていきなと今日の資料を見たり、今までの活動を見たり聞いたりして思ったところです。来年度もほとんどの方がやってくだと信じています。今後の期待やお願いを申し上げ、最後のお話とさせていただきます。ありがとうございました。

・会議としては以上となります。熟議を行いました。保護者の方が希望して参加されました。来られた方みなさんが、これだったらまた次も来たいと言って帰られました。

もしかするとこれが来年度広がりを見せるかもしれませんが、これがみなさんの力かなというふうなことを思います。ちょっと行ってみたいくなる。ちょっと参加してみたいくなるものが、この中のイベントの中にあっただけではないかなと感じています。それからリーフレットです。事務局が案を出したんですが、それに対してこれだけ多くの意見をみなさんに言っていただけたということは、最初はイメージをしておりませんでした。いっぱい変わりました。完成したときに自分たちが作ったリーフレットだなと感じられるものができるんではないかなとすごく期待をしています。これをもとに地域とのつながりのきっかけが、この学校運営協議会のスタートとともにできればありがたいなというふうに思っております。

みなさんのおかげでここまでできたので、またご協力いただきますようよろしくお願いいたします。今年一年間お世話になりました。

以上をもって第6回学校運営協議会を閉会します。ありがとうございました。

午後8時25分